



人と人のハートを大切にするハートフルグループ

平成29年10月15日発行

社会医療法人協和会 社会福祉法人大協会 連携広報誌



# むつごろう

Vol.103  
秋号



特集

## 整形外科

高齢化社会を  
支えるために

もくじ

特集

●理事長メッセージ ..... 1~2

●ちょっと耳寄り情報

加納総合病院  
訪問リハビリテーション開始しました

7

●社会医療法人協和会ニュース

トピックス1

訪問リハビリスタッフのご紹介 ..... 8

トピックス2

医療安全管理室

8

●大協会便り

社会福祉法人大協会ハートフルかのう  
北区大淀地域包括支援センターのご紹介

9

●連携医療機関紹介

医療法人 小山眼科

10

●各科診療医一覧表



ご自由にお持ち帰りください

理事長  
メッセージ

# 災害医療支援活動体制を見直し、 防ぎえる災害関連死を無くす ことを目指して

社会医療法人協和会  
理事長  
加納総合病院院長

加納 繁照

## 民間病院災害支援、長かった道のりを超えて

平成29年7月29日、政府主催の大規模地震時医療活動訓練が近畿地方を中心に行われました。全日本病院協会大阪府支部の災害時医療支援活動幹事指定病院である加納総合病院にAMAT活動拠点本部を設置し、私は本部長として陣頭指揮を執りました。AMATは、全国で200数隊、総勢600人以上が組織され、熊本大地震ではその機能を十分発揮しました。思えば阪神・淡路大震災の発災翌日に、私が神戸の被災地に入り医療救護活動を行った際、神戸中央市民病院は橋向こうのポートピアで対策会議は行っていたものの、建物が崩壊して病院として機能していませんでした。そんな中、民間病院は被災しながらも黙々と患者さんを受け入れし、対応していましたが、薬剤などの物資の支援はその頑張っていた民間病院には一切なかつたのが実態でした。そして、東日本大震災でも同じことが繰り返されました。一例として、宮城県気仙沼市では、災害拠点病院である気仙沼市立病院は、DMAT（災害派遣医療チーム）を始め多くの人、食料・物資などが集まっていたにも関わらず、同院からわずか1キロも離れていない民間病院には全く支援がなく、院長・職員は飲まず食わず必死に自院の患者さんを守りました。同様のことが仙台市内や多くの被災地で見受けられました。それらの経験から、やはり、民間病院は自ら守らなければならないという気持ちを

抱き、AMATを創設したのです。今回の訓練は、DPAT（災害派遣精神医療チーム）とも連携し、大阪府庁に設置された災害医療本部での指揮通信や、身体合併症を有する精神科患者医療救護搬送ミッションを実施することができました。朝7時から夜6時まで長時間にわたる訓練でしたが、多くの参加者からよい評価を受けることができ、今後の実践に向けて実りの多い訓練になったと思います。お陰様で、大阪府の次期医療計画に災害医療で主な医療救護班の種別と派遣元機関の中にAMATと全日本病院協会が明記される予定です。災害時の支援は「点」ではなく、「面」でというのが持論ですので、南海トラフ地震など懸念されていますが、災害時には民間病院の役割をしっかりと担いたいと思います。



平成7年1月  
阪神・淡路大震災 被災地にて





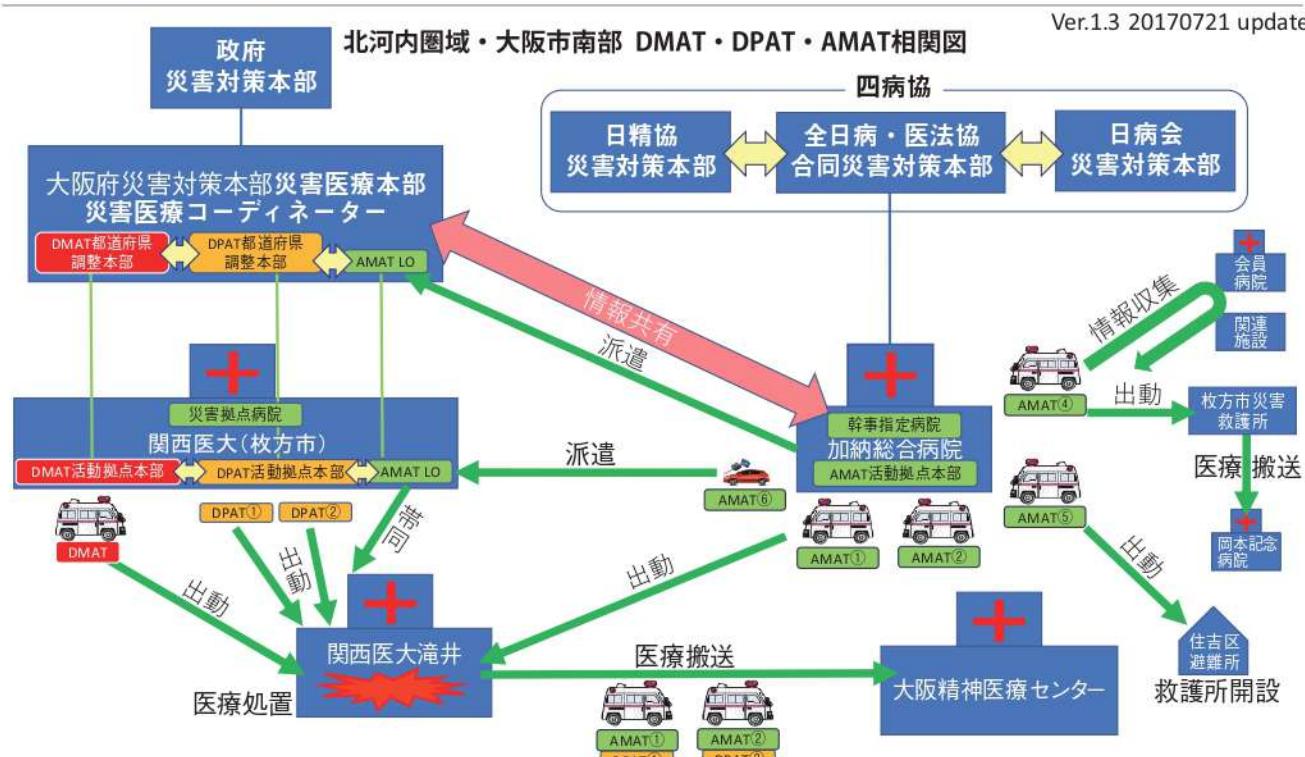
AMATによるDPATと協働した医療搬送



AMAT活動拠点本部にて、本部長より指示

## 大阪府 大規模地震時医療活動訓練概要

平成29年7月29日、政府主催の大規模地震時医療活動訓練は、前日に和歌山県南方沖を震源地とするマグニチュード9.1、最大震度7の地震が発生、大阪府内沿岸部には最大5メートルの津波が発生したという想定で行われました。加納総合病院にAMAT活動拠点本部を設置し、全日本病院協会からは大阪府や、兵庫県をはじめとして東京都からもAMATが参加、被災会員病院の安否確認や、EMIS(広域災害救急医療情報システム)入力の病院支援など9つのミッションを実行し、今後のAMAT活動に資する有意義な訓練となりました。加納総合病院では、救急医療から災害医療に至るまで地域に密着した医療を担います。



### AMAT(All Japan Hospital Medical Assistance Team、全日本病院医療支援班)

東日本大震災において、被災した民間病院に対する支援が十分に行き届かなかったことから、民間病院の連携を強固にすべく、全日本病院協会が創設し、災害医療活動の知識・技能を習熟したチームとして、DMATに準じる医療チームを養成しています。昨年より日本医療法人協会も参加し、今後は日本病院会も参加を予定する災害時における医療支援チームで、加納繁照は、全日本病院協会の救急防災委員長を務めています。

# 高齢化社会を 支えるために

—連携医療の必要性を語る—



## 特集 整形外科

インタビュー

社会医療法人 協和会 加納総合病院  
整形外科 整形外科部長

納田真也先生

interview

Shinya Nouda M.D.,Ph.D.

加納総合病院の総合医療を支える整形外科診療。救急から介護まで地域に根ざした医療を実践する、その現状と患者さんへの思いを、整形外科部長 納田真也先生にお伺いしました。

### 骨粗しょう症は“知る”ことが大事。

近年、整形外科ではどのよう  
な疾患の来院が多いですか？

当院の整形外科外来は午前中  
と夜診で、毎日100名ほどの  
来院があります。外来の場合、

やはり腰痛や膝関節部痛を訴え  
る方が大半を占めます。さらに  
当院では救急外来も積極的に受け付けていますので、骨折など  
外傷の治療が加わります。特に

最近は、外来患者さんの年齢層  
は幅広く、高齢化が進んで90歳  
代で独歩通院される方もおられ

ます。  
高齢者の骨粗しょう症が増加  
していると聞きます。最近よく  
耳にする病名ですが、骨粗  
しう症とは、骨の量や  
質が低下して骨折のリスクが高  
まる病気です。高齢者に限ら  
ず、ホルモンのバランスが崩れ  
始める50歳代の女性も早期骨粗  
しう症になる可能性があります。  
本来50歳を超えると検査  
を受けていただきたいところで  
すが、実際は治療を必要とする  
高齢者でも治療どころか検査す  
ら受けたことがない方も少なく  
ありません。自覚症状がほとん  
どなく、骨折してはじめてわか  
るという場合が多いので、検査  
で発見して治療を始めることができます。  
最も大切です。

骨粗しう症の検査とはどの  
ようなものなのでしょうか？

骨の強度を検査します。骨密  
度検査が一般的ですが、当院で  
は最新の骨密度測定装置を導入  
しました。これまでの前腕だけ  
でなく、腰椎や大腿骨の骨密度  
を計測することが可能になりました。  
高齢者の転倒による圧迫  
骨折や大腿骨頸部骨折は、歩行

社会医療法人 協和会 加納総合病院  
整形外科 整形外科部長  
納田真也先生



最新の骨密度測定装置

困難になつたり、寝つきりにな  
るリスクが高くなります。最新  
装置では折れやすい部分の骨密  
度を測定できるので、従来より  
詳細な検査が可能になります。  
また、骨の強度は骨密度だ  
けでなく骨質も要因となります  
ので、骨密度が高くても骨質が  
悪ければ骨粗しう症と診断さ  
れます。最新の骨密度測定装置  
は、これまで採血や尿検査で判  
断していた骨質も測定できるの  
で、一度の検査で骨粗しう症  
の程度が明確になり、適切な治  
療法を提案できるようになります。  
具体的には海綿骨微細構  
造の指標であるTBS\*を測定  
することが可能です。大阪では  
大学病院以外ほぼ検査が不可能  
ですので、是非とも一人でも多く  
の患者さんをご紹介ください  
ますようよろしくお願ひいたし  
ます。

\*海綿骨微細構造の指標 (trabecular bone score: TBS)

## 連携医療でスピーディな対応を。

高齢の方は自宅近くの開業医に通院されている方も多いと思われます。

近年の長寿命化に伴い、男女ともに平均寿命と健康寿命の差が10年ほどあると言われています。そしてこの10年間は介護を要する期間で、介護の要因として最も多いのが運動器の障害です。運動能力が低下した状態をロコモティブシンドrome（運動器症候群）と言います。骨粗しょう症はロコモの三大原疾患の一つで両者は密接な関係があります。高齢の場合、一度骨折すると次々に骨折が連鎖して起こる「ドミノ骨折」が懸念され、その結果寝たきりのため要介護の状態になってしまうこともあります。病院の勤務医にとっての主な任務は、骨折患者さんの治療ということになりますが、ドミノ骨折の諸悪の根源は初回骨折であるということを忘れてはならないと考えます。

骨粗しょう症やロコモの早期発見、早期治療のためには地域の

開業医の先生方と共に社会に対して啓発活動を行うことも必要だと考えています。一人でも多くの方に検査を受けていただき骨粗しょう症と診断し治療を開始することが重要で、また継続していくためにも、地域の医療機関との連携が高齢化社会を支えるうえでとても大切なことであると考えています。

連携という点では、加納総合病院では急性期病棟と回復期病棟との院内連携も特徴的ですね。

当院は「急性期病棟」「回復期病棟」「慢性期病棟」に分けられており、「回復期病棟」を備えている病院は多くはありません。チーム医療による救急体制の実現により、年間約5,000件の救急患者を受け入れておりますが、整形外科で手術が必要になった救急外来の患者さんは術後のリハビリが重要なため、ある程度安定した時期を目安に「急性期病棟」から「回復期病棟」に移って、1日2回のリハビリを毎日受けたいだけます。国の定めた医療制度により入院期間の制限があり、術後数週間で転院の必要

に駆られるケースも多いので、歩けるのならば受けたいと希望されるケースが多くなりました。そのため術式はご本人もごとつても術後の経過観察が必要な患者さんをフォローすることができるので、良いシステムだと思います。

要介護認定を受けた高齢者や、リハビリが必要だが通院が困難な患者さんに対して訪問ケアも始めました。ご自宅でリハビリされる患者さんの中には、「やり方がわからない」「この方法で正しいのか不安」という方が非常に多く、また介助者の方のフォローをするという目的もあります。我々主治医もよく知っている自院のリハビリ医が担当するので信頼性も高く、患者さんの細かな状況を直接聞くことができるのです。

納田先生は特に脊椎・内視鏡手術が得意の分野とお聞きしていますが。

整形外科においては、脊椎疾患のご高齢患者さんが増えています。かつては80歳を超える患者さんの手術はリスクも高く、望まれるご家族も多くはなかつたのですが、手術をして元気になれることがあります。歩けるのならば受けたいと希望されるケースが多くなりました。そのため術式はご本人もごとつても術後の経過観察が必要な患者さんをフォローするため、フルハイビジョン脊椎内視鏡システムを導入しています。



回復期リハビリテーション病棟  
スタッフステーション



### プロフィール

社会医療法人 協和会  
加納総合病院  
整形外科 整形外科部長  
納田 真也 先生

#### [所属学会および認定]

- ・医学博士
- ・日本整形外科学会 専門医
- ・日本整形外科学会 認定脊椎脊髄病医
- ・日本整形外科学会 認定リウマチ医
- ・日本整形外科学会 認定運動器リハビリテーション医
- ・日本脊椎脊髄外科指導医

#### [略歴]

- ・平成10年 大阪医科大学卒業
- ・平成20年より加納総合病院勤務

### 診察日

月曜	午前	9:00 ~ 12:00	1診
火曜	午前		2診
水曜	夜診	18:00 ~ 19:45	—

受診の際に、内視鏡手術で対応が可能かをご相談くだされば、細かくご説明し、適した術式で治療させていただきます。

## 高齢者の治療は長期間 “寝たきり”にしないこと

高齢者を診察する上で、先生が特に気をつけておられること

がありますか？

ご高齢の方は合併症を患つておられる心配があります。我々が治療する投薬内容と飲まれているお薬の関係性が大事になつてきますので、併用に問題ないかを注意しています。また、整形外科ではあまり採血はしませんが、必要に応じてなるべく採

血を行い、内科疾患もいか調べるようにしています。検査結果によつては他科に診療を依頼できることは、総合病院の強みです。

限られた短い時間ですが、できる限りお話を聞いて症状を理解し、必要に応じて検査を行います。高齢の方は痛みにも鈍くなつてきてるので、こちらから積極的に質問しながら診察をするように心掛けています。そして、手術が必要な場合はなるべく早く手術を行うようにし、骨折などで寝たきりの状態を短くすること。リハビリも、術後からではなく入院直後から行い、関節拘縮や筋力維持に努め

ることが大切です。  
骨粗しょう症の治療法は、内服、点滴、皮下注射など多様化してきています。患者さんのコンプライアンスの問題も含め、治療効果を確認するためにも2ヶ月に一度の定期受診をお願いしています。5年ほど前のデータでは、骨粗しょう症の治療を始めて1年後も内服を続けていた患者さんはわずか2割程度しかいないようです。この結果は我々にとつては非常にショックで、これではドミノ骨折を予防できません。定期的に検査に来ていただくことで服薬状況の改善に努めるようにしています。

最後に、メッセージをお願いします。  
骨粗しょう症は症状がなく、来院いただき検査を受けてもらわないと認識していただけない病気です。50歳を過ぎたら気軽に検査を受けていただくよう、主治医さまからの呼び掛けもぜひお願いします。  
ご高齢の方の入院治療は長期間に及ぶことが多いですが、急性期から回復期に至るケアを十分に行い、一人でも多く自宅通院できるように精一杯努力します。必ずもとの主治医さまの元へ戻つていただくことをお約束します。

ありがとうございました。

ちょこっと

若い元気なスタッフが快適な  
生活ができるようサポート  
いたします



Rehabilitation

# 耳寄り情報

1

**加納総合病院**  
**訪問リハビリテーション開始しました**

加納総合病院では、「地域に根ざした患者様中心の医療の実践」を病院理念として医療提供サービスを心掛けています。このたび、地域の皆様で、手が動きづらい・歩きたい・御飯が呑み込みづらい、というようなお悩みをお持ちで、要支援・要介護の皆様が快適な自宅での生活を過ごせるよう、訪問リハビリテーションを開始させていただきました。簡単にQ & Aでまとめましたので、是非ご利用ください。

**Q1 訪問リハビリテーションとは何ですか？**  
リハビリテーション専門のスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）がご自宅を訪問し、リハビリテーションを実施させていただきます

**Q2 どなな人が対象となりますか？**

次の両方に該当する方です  
①要介護認定（要介護1～5）、要支援認定（支援1・2）の方  
②主治医から訪問リハビリテーションが必要だと認められた方

**Q3 利用できる地域はどこですか？**

大阪市北区と都島区に在住の方です  
(2区以外に居住の方はご相談ください)

**Q4 利用するにはどのようにしたらいいですか？**  
担当する主治医か、ケアマネジャーさんにまづご相談ください

**Q5 利用できる頻度はどれくらいですか？**

リハビリの効果的に1週間に2回、1回の時間は60分(3単位)とさせていただいておりますが、利用者様と相談のうえ決めさせていただきます

**Q6 費用はどれくらいですか？**

利用者様によって違うので、担当ケアマネージャーさんにお問い合わせください



ご不明な点や、詳しくは、お気軽に下記にお問い合わせください

080-8942-1911・1912(直通) 06-6351-5381(代表)



## 訪問リハビリスタッフのご紹介

社会医療法人 協和会 | 淀川介護老人保健施設 ハートフル

施設と在宅との  
懸け橋となるべく  
日々研鑽中です！



### 利用者とその家族の笑顔のために

淀川介護老人保健施設ハートフルは、150床の大規模で医療と介護の中間的な施設として、開設より長年淀川区に唯一の老人保健施設です。そこで訪問看護の一環でしか行なうことができなかつた訪問リハビリを老健から行なうことが可能になりました。日常生活の自立と社会参加の向上のためになると考へ、先駆けて開始しました。スタッフは自転車で淀川区全域を駆け回つており、利用者やその家族の笑顔が取り戻せるよう明るく楽しい訪問リハビリを行つております。医療保険の改定に伴いリハビリ難民と言われる方が増える中、ハートフルでは最後の砦として通所と訪問の選択ができ、常に利用者やその家族が在宅での安定した生活を送れるように活動しております。

社会医療法人

# 協和会ニュース

KYOWAKAI NEWS



TEL／06-6302-8686

住所／〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-3-29

アクセス：阪急宝塚線「十三駅」下車、東出口を北へ徒歩約5分



## 医療安全管理室

No.1

今年度 医療安全目標 | 患者様の誤認防止



診察や検査、注射や採血の前にお名前を確認させてください。  
誤認防止にご協力ください。

診療にあたり、万が一患者様を誤認すると大きな医療事故につながるため、今年度は患者様の誤認防止を医療安全目標にさせていただいております。診察や検査などの際に、何回もお名前を確認させていただくことがございます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 大協会 便り

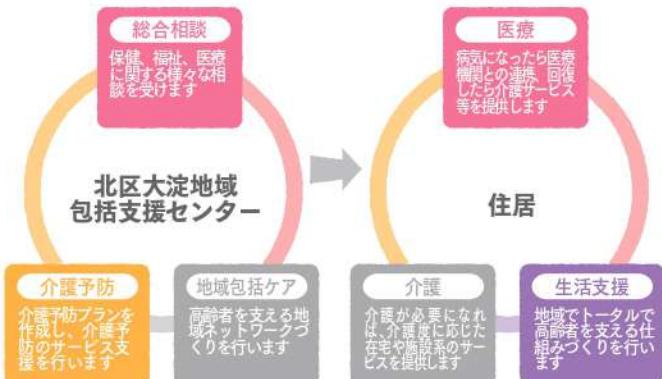
## 社会福祉法人 大協会 ハートフルかのう

# 北区大淀地域包括支援センターのご紹介

### ●お仕事内容のご紹介●

地域包括支援センターは、介護、医療、福祉に関する様々な相談に応じたり、地域の皆様とともに高齢者を支えるネットワークづくりを行っています。地域の高齢者を支えたため、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士の専門職がチームになって、住民の相談を幅広く受け付け、介護サービスや、地域の社会資源を活用した取り組みを行っています。皆様からのご相談をお待ちしています。

### 地域包括支援センターのお仕事



### ●サービスを担う職員のご紹介●



# 医療法人 小山眼科



院長／小山 賢一  
医学博士  
日本眼科医会認定眼科専門医  
小児眼科学会会員  
兵庫医大在籍

副院長／梅本 佳津子  
薬剤師／片岡 浩世



連携

## 医療機関紹介

加納総合病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最前の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

昭和37年東京医科大学を卒業後、直ぐ帰阪して、大阪医科大学眼科学教室に入局。その後昭和40年10月から恩師湖崎克先生にご指名いただき、全国で初めての子供専門病院大阪市立小児保健センター眼科で、約15年間小児眼科を勉強しました。将来地元で一般眼科を開業するためには、湖崎先生にお願いして、しばらくの間大阪市立桃山病院眼科部長として出張し、小児眼科と成人眼科を研修させていただきました。開業した当時は、小児眼科専門と思われたのか子供の患者さんが非常に多かつたように思いました。学校医としても最初の頃は大淀中学校、大淀小学校、大淀幼稚園、中津小学校、豊崎小学校と、診させていただきました。現在は年齢と体力を考慮し、中津小学校、豊崎小学校の二校のみ診させてもらっています。娘(副院长)も現在は大学で研修生としてお世話をになり、日に日に進む眼科学を勉強しております。大学に行かない日は午前診、午後診の全日、私の体のことを考え

えて副院長として助けてくれています。最初は心配もありましたが、現在は私より、娘の診察日方が患者さんが多くなりました。娘の診察は、私からの日頃の注意を守り、診療時間の許す限り詳しく病状、診療方針、予後にについて説明してくれると患者さんに喜ばれているようです。そう遠くない未来の世代交代に備え、新しい検査機器に入れ換え、今年10月から小山ビルのリニューアルを行います。新しい院長の就任を心待ちにしていますが、私としてはこの時期教えることが沢山あって大変です。なかでも私が娘に耳にタコが出来るほど言っていることは、小山眼科を受診してくださる患者さん(とくに初診の方)が、今迄理解できなかつた自分の病名、病状をしっかりと理解できたう。と喜んで帰っていただけるよう。と診療をすること、また具合が悪くなつたら小山眼科に行こうと思われる診療を心掛けるよう。ということです。どのような仕事でも、口込みほど有難いものは無し、リピーター無

くして事業は成り立たないと  
いうことを子供達にしつかり  
伝えていきます。これからもこの  
81歳の老医と副院長(長女)、  
薬剤師(次女)ともどもよろしく  
ご指導ください。

### 小山眼科



アクセス  
地下鉄御堂筋線 中津駅①番出口  
徒歩1分(豊崎西公園前)

〒531-0072  
大阪市北区豊崎3丁目15-14  
TEL／06-6371-6529 FAX／06-6371-6529

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30～ 12:00	小山	梅本	梅本	休診	梅本	小山
16:30～ 19:00	小山	梅本	梅本	休診	梅本	休診

\*受付は診察30分前よりはじめます。  
※来院時は健康保険証・医療証をご持参ください  
休診日 木曜・土曜午後・日曜・祝日





# 各科診療医一覧表

## 加納総合病院

科		診療時間	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	1診 9:00~12:00 12:00~12:45 酒井(宣)	院長 久保田	酒井(宣)	原	中間	徳山・酒井(宣)	
		2診 9:00~12:45 久保田	森脇	原	岸野	福本	湯口・岩崎	
		3診 9:00~12:00		高嶋・酒井(宣) ※糖尿病	中川(聖) ※糖尿病	高田		
	午後	1診 14:00~16:45 瀧川	徳山※糖尿病	石井	瀧野・中川(聖) ※糖尿病	久保田		
		夜診 18:00~19:45 谷・石井・岸野	中間・森脇	原・高田	酒井(宣)・岸野	高嶋		
	外 科	午前 9:00~12:45 矢野	OP	矢野	田中	矢野	交代	
	午後 14:00~16:45 向井	OP	矢野	矢野	矢野	矢野		
	夜診 18:00~19:45		向井・田中					
整形外科	午前 9:00~12:00	1診 納田	森本	岡吉	羽山	糖谷	岡吉	
		2診 糖谷	納田	下(予約)	下(予約)	恒遠		
	夜診 18:00~19:45	岡吉	糖谷	納田	羽山	下		
脳神経外科	午前 9:30~12:00	1診 中澤	交代	黒田	安田	中澤	交代	
		2診 蘭(予約)			米田	蘭(予約)		
循環器内科	午前 9:00~12:00	1診 谷浦	谷浦	谷浦	谷	谷		
		2診 谷浦					ベースカガハ	
	午後 14:00~16:45						正木	
	夜診 18:00~19:45	谷						

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
神経内科	午前 9:00~12:00						望月
	午後 14:00~16:45						長野
	夜診 18:00~19:45						
形成外科	午前 9:00~12:00	市田			市田	市田(予約)	市田
	午後 14:00~16:30	市田			市田	市田	
眼 科	午前 9:00~11:00	中川(和)	前田	中川(和)	盛	中川(和)	中川(和)
	午後 14:00~15:00	中川(和)	検査	OP	検査	検査	
耳鼻科	午前 10:00~12:45	津田	津田		津田	津田	藤澤・鈴木
	午後 14:00~15:45	津田	津田		津田	津田	
泌尿器科	午前 9:00~11:45	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元
	午後 14:30~16:30		坂元		坂元		
	夜診 18:00~19:30		坂元(予約)		坂元(予約)		
皮膚科	午前 9:00~12:00		草壁・和田				山本
	午後 13:00~16:00	谷口					
婦人科	午前 9:00~11:30	堀江		堀江		堀江	
小児科	午前 9:00~11:45						井上(彰)

※詳しくはホームページを参照ください。

平成29年10月1日時点

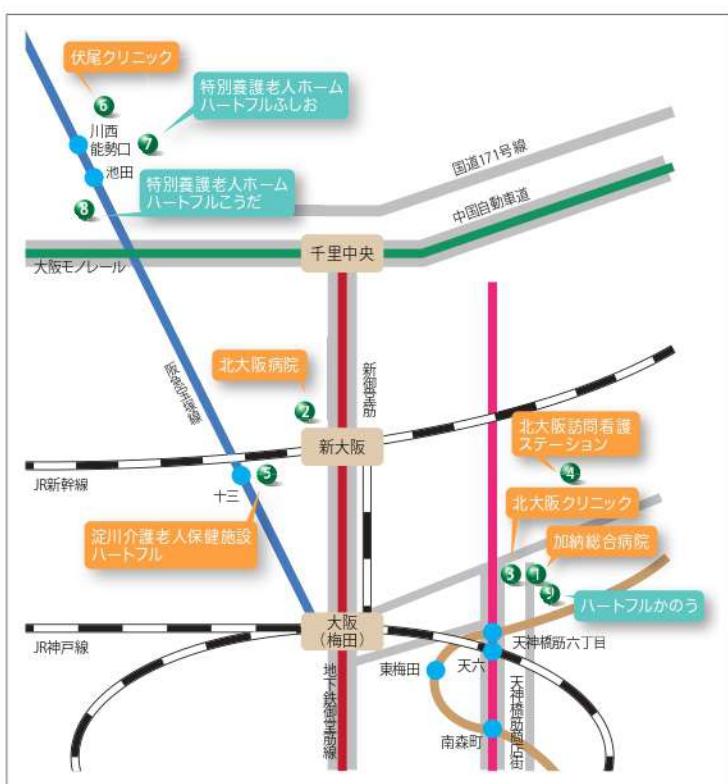
## 北大阪病院

科		診療時間	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	9:00~13:00 中川	高嶋	扇谷	中川	谷浦	遇代り	
		14:00~17:00 杉原	中川	扇谷	大川	石井(秀)		
	夜診 18:00~20:00	西良	藤尾	石井(昭)	大川	中川		
外 科	午前 9:00~13:00	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	都	
	午後 14:00~17:00						※急患のみ受付	
	夜診 18:00~20:00		藤尾					
整形外科	午前 9:00~13:00	目黒	小林 (奇数週)	目黒	安田	目黒	高尾	
		信貴	橋本 (偶数週)	三山	佐柳			
	午後 14:00~17:00	下		下		下		

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前 9:00~13:00	松川	松川	松川		佐藤	松川
	午後 14:00~17:00					※急患のみ受付	
皮膚科	午後 14:00~17:00					高田	
	午前 9:00~13:00	岡田			扇谷		谷浦
循環器科	午後 14:00~17:00	杉原			扇谷		乾
	午前 14:00~17:00				澤村		
泌尿器科	午前 9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
	午後 14:00~17:00	○		○		○	
リハビリ	午前 9:00~13:00	○					
	午後 14:00~17:00						

※詳しくはホームページを参照ください。

平成29年10月1日時点



## 社会医療法人 協和会

### ① 加納総合病院

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-5-15 TEL.06-6351-5381(代)

### ② 北大阪病院

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-17 TEL.06-6395-1601(代)

### ③ 北大阪クリニック

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-6-21 TEL.06-6351-2228(代)

### ④ 北大阪訪問看護ステーション

〒531-0063 大阪市北区長柄東3-3-10 フローラルハイツ協和2階 TEL.06-6357-7893

### ⑤ 淀川介護老人保健施設 ハートフル

〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-3-29 TEL.06-6302-8686

### ⑥ 伏尾クリニック

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-2 TEL.072-754-2838

## 社会福祉法人 大協会

### ⑦ 特別養護老人ホーム ハートフルふしお

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-1 TEL.072-754-2901

### ⑧ 特別養護老人ホーム ハートフルこうだ

〒563-0043 大阪府池田市神田2-6-7 TEL.072-750-0810(代)

### ⑨ ハートフルかのう

〒531-0062 大阪市北区長柄中1-1-21 TEL.06-6354-1108(代)

編集後記

リニューアル後、初めて12ページ版を発行させていただきました。皆様にとって、お役に立てる誌面作りを心掛けてまいりますので、ご支援をお願い申し上げます。